

問 交付金、1世帯当たりの差大きい

答 今後、十分調査・検討していく



みすずの会
えり 恵利 議員

問 自治会への交付金は、住み良い地域社会をつくるための活動を支え、欠かせない。自治会加入1世帯当たりの交付金額の最大額と最少額は。

答 最大額は原子力機構百塚区自治会で1万4,483円。最少額は内宿一区自治会4,425円。その差は1万58円。

問 いくつかの要素で交付金額が決まるので、線引きは必要だが、かなりばらつきがある。加入率580%の自治会をどう捉えているか。

答 住民票は移してい



真崎自治会
年2回、真崎古墳の整備作業。8月末の行灯まつりには地区外からも大勢参加。とても幻想的なまつりです。

ないが、自治会に加入している世帯があるため580%になっている。

問 580%の詳細は、個人情報という事で調べられず。しかし、住民基本台帳によると、11/1現在で世帯数4で12人。住民登録4世帯の住宅を自治会と同等とみなすのか疑問。自治会加入世帯の定義づけは。

答 この交付金は自治会活動を支援するもの。住民登録の有無に関わらず、自治会に加入している世帯は交付金の算定対象である。

問 河川敷グラウンドの復旧計画は

答 早急に工事着工、完了を目指す



新政とうかい
てらかど 寺門 さだのり 定範 議員

問 台風19号により、河川敷のグラウンドは完全に浸水し、被害を受けた。石神内宿サッカーグラウンド、石神外宿ソフトボール場の被害状況、利用者への影響と今後の復旧計画は。

答 サッカーグラウンドでは、ゴール4組が流出し、そのうち2組は破損、さらにグラウンド内に砂利が堆積し利用不可となった。ソフトボール場は、バックネット支柱が倒壊・折損、また、ネットへの瓦礫堆積に加え、内野面の土の流出も発生



破損したソフトボール場バックネット

していることから、両グラウンドとも現状では利用が困難な状況である。例年の利用者は、11月から3月までの間に両施設合わせて約19,400人の多くの方が利用していることから、可能な限り早急な復旧工事の着工、完了を目指す。復旧費用については、サッカーグラウンドがゴールの購入と砂利の撤去工事に約200万円、ソフトボール場が復旧工事に約3,500万円を見込み、国の災害復旧補助金を活用する計画である。